

立沢里山

平成23年7月24日
里山新聞 第23号

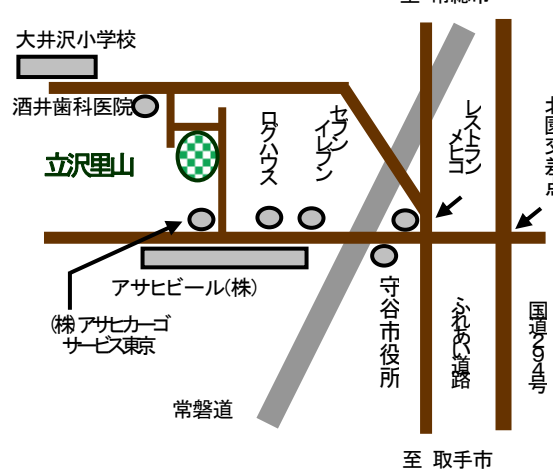
発行：立沢里山の会 代表 鈴木 榮
問い合わせ先：事務担当
須賀（守谷市役所内 45-111 内線 351）
立沢里山ホームページ
<http://www.geocities.jp/tatuzawasatoyama/>

ボランティア募集
あなたも一緒に楽しみましょう！

～目次～

- 1 竹炭の窯出し 4月10日(日)～5月14日(土)
- 2 畦塗り・木道改修 4月29日(土)
- 3 田んぼの準備 5月14日(土)
- 4 「田んぼの学校」の田植 5月19日(木)
- 5 海老原邦夫さん農林水産大臣表彰を受賞
- 6 アサヒビールからエコ基金贈呈 6月23日(木)
- 7 草取り、木道改修 6月25日(土)
- 8 生き物調査、水質浄化の竹炭設置 7月23日(土)

【案内地図】



「立沢里山新聞」の記事をお願いします

denen21@hb.tpl.jp

清野



の様子をみるつもりです。

併せて、入り口階段も数年放置したままのため崩壊しており、この際に修復し、桑の木の剪定もしてかなりスッキリしました。



3 田植の準備

5月14日(土)に小学校の先生にも参加していただいて、草刈りや畦塗、シロカキなど田植の準備をしました。人数も多く刈り払い機も沢山集まったので草刈りはいち早く終わりました。

ところが耕運機の調子が悪くなかなか動きません。皆さんの手作業もあってやや遅れ気味でしたが、何とかシロカキまでできました。ポンプも調子が悪く先日調整しましたが、あちこち調子が悪くなる時期かもしれません。

また、今年は、道路わきの田んぼを少し拡張し、古代米を栽培することにしました。

4 「田んぼの学校」の田植

5月19日(木)午前9時には御所が丘、松前台、大井沢の3小学校から約210名の小学5年生が元気に徒歩で集合しました。

里山の会はスタッフとして10名、今年はPTAにも依頼し10数名が補助で参加していただきました。



里山入り口の階段を改修



田んぼの準備作業

守谷市の教育長も視察に訪れたほか、取材も市役所、毎日新聞、東京新聞、日本農業新聞などが来ていました。子供達の挨拶の後に里山の会から田植の手順を説明し、早速田んぼに入ります。今年は大井沢小学校が素足で実施することとしたため、子供達は大変です。でも子供達は最初は初めての経験で大騒ぎでしたが、順応性が早く直ぐにハシャギ廻ります。

晴天に恵まれ少し汗ばむ陽気になってきました。いつもの通り、尻持ちをつくもの、顔中泥だらけになるものなど様々ですが、大声で騒ぎながら何とか一時間半ほどでそれぞれの田んぼの田植えが終了しました。

素足の子供も、最初は気持ち悪かったけど、慣れてくると土の感触が気持ちいいと走り回っていました。

早く終わった子供達はザリガニ、メダカ、オタマジャクシを採ったり、小川に飛び込んで泥を落とす者もいて楽しそうに遊びまわります。

田植の最中に、「田んぼは水深が浅く暖かいのでメダカがたくさんいるんだよ」と説明すると「わ～私も採ってみたい、私も～～～」とのことで「それでは、夏休みに草取りをするので、その日に魚採りをしようか」という話になってしまいました。成り行きですが7月23日(土)に子供達と「生き物観察会」を実施することで連絡もしました。市制10周年記念行事の一環として楽しくやりましょう。



全員集合



田植え風景

1 竹炭の窯出し、筍採り

今年は4月10日窯入れ、12日火入れ、15日に火止閉塞してありましたが、竹炭の窯出しを5月14日(土)の田んぼの準備作業の後に実施しました。

先日は、他の団体で窯を開けてみたところ燃やし過ぎてあまり残っていなかったとの情報も得ており、やや不安な気分で開けてみました。おそろおそろ覗いてみると大きく崩れた痕跡もなくどうやら大丈夫のようです。

触って切ると気持ちのいい金属音がして焼き上がりもよさそうです。出してみると今までは最も綺麗に焼き上がったようで、しかも焼き上がり量も最も多かったのには驚きました。

太いままの孟宗竹も今年は2、3年物を意識して準備したのでこれもしっかりと出てきました。アート用の木の実も期待通りに焼き上がり、夏祭りに向けてアート製作が楽しみです。

竹酢液も180缶で5缶採取できました。

夕方、作業が終わったあとに筍採りをしました。少し時期は遅いのですが、竹林管理のためにはよさそうです。



竹炭の窯だし作業



焼きあがり良好

2 畦塗り・木道改修

4月29日(土)の作業例会では畦塗とともに、プラパネを入手したので早速入口付近の木道を入れ替えってみました。プラスチックは紫外線に弱く腐材にする時に問題となるかもしれませんが、腐らず管理しやすいので実験的に設置し



最後に、皆の感想を挙手で聞いてみると「疲れた、大変だった」は約6割程度、「面白かった、楽しかった」は10割で、皆思いっきり両手を挙げて答えてくれました。

皆、生き生きとして元気な声と笑顔一杯で、里山の会としてはこんなに嬉しいことはありませんでした。

休憩の後に、大人の田んぼに田植、今年は拡張した田んぼ古代米(黒米)を植えてみました。

夜は豊作祈願の直禮(なおいらい)をいつもの店で実施しました。汗をかいたあとのビールが最高でした。



足をとられて大変!

5 海老原邦夫さん(農業委員会会長)、農林水産大臣表彰を受賞

守谷市広報誌にも掲載されているように、このたび、海老原邦夫さんが農林水産大臣表彰を受賞されました。長年、農業委員会会長として地域農業や農村地域の活性化に尽力されたことが評価されたもので、心からお祝い申し上げます。

また、受賞理由に、小学生の田植え体験への貢献などもあげられており、「立沢里山の会」としても嬉しい限りです。

本当におめでとうございます。

6 アサヒビールからエコ基金贈呈

アサヒビールでは、茨城県内で販売した「アサヒスーパードライ」1本につき1円をエコ基金として「いばらきの美しい水と緑」を守る環境保全活動などの推進に役立てて行くこととしています。

今年は、「立沢里山の会」に贈呈されることになりました。

6月23日(木)立沢里山の会から4人が出席し、アサヒビール工場内の応接室で、工場長から鈴木会長に贈呈が行われました。約15万円でしたので、老朽化した木道の改修にちょうど良いかもしれません。

その後、工場内の山百合栽培やホタルビオトープなどを見学し、意見交換などを行いました。



農業委員会会長が農林水産大臣表彰

農業委員会会長の海老原邦夫さん(立沢)が農林水産大臣表彰を受けました。

海老原さんは、遊休農地対策としてそば栽培や



海老原邦夫さん

小学生の田植え体験に貢献され、また守谷市で初めての女性農業委員登用や農村地域の活性化のための直売所設立にも尽力されました。このような農業の発展と農業者の地位の向上に向けた功績が認められました。おめでとうございます。



工場長から贈呈



ホタルビオトープ



7 草取り、木道改修

6月25日(土)の定例会には子供、先生、父兄なども草刈や草取りに参加してくれました。

前日の猛暑とうって変わって、曇り空で助かりました。それでも作業をするとすぐに汗が出てきて、おやつアイスクリームが好評でした。

併せて、老朽化して危険な状態となっている木道のうち、河川横断部について今回、一部ルート変更して改修しました。

小さな子供も水に親しめるように、プラスチックパネルを活用して水場も設置してみました。今年の夏は節電しなければならないので、外に出て水辺を活用して遊びながら乗り切りましょう。

多くの人が楽しく親しんでいただければと思っています。



休憩のアイスクリーム



改修した木道

8 生き物調査、水質浄化の竹炭設置

7月23日(土)の定例会は、草取りのほか、田植えの際の要望で実施することとなった生き物調査を実施しました。親子で十数名の参加がありました。

カゴ網、タモ網などで魚採りをして、観察箱やケースにいれ、皆に配布した「魚やカエルの鑑定用下敷き」と図鑑で名前などを確認しました。

最も多かったのはザリガニでしたが、メダカ、モツゴ(クボリ)、タモロコ、ドジョウなども確認できました。外来種のヒメダカもいました。珍しいゲンゴロウを捕獲したので、図鑑で調べたところ「ハイロゲンゴロウ」であることが判明しました。3対の斑点があり田んぼが大好きなようです。めいめいスケッチなど熱心に記録していました。子供の中にはよく勉強しなかなか詳しい子もいました。最後は小川に飛び込んで、ずぶ濡れというより泥んこで遊びまわっていました。

今年は雨が少なく小川の水も危機的な状況で水質も悪くなってきました。そこで、休憩のあと、竹炭を使用した水質浄



熱心に魚採り



ケースに入れた水質浄化竹炭

化施設を設置することとし、プラスチックケース5個に竹炭を詰めて橋の下に設置してみました。

良好な結果を期待したいものです。水質を改善するには池の底に溜まったヘドロの浚渫が必要で、バケツで一部泥上げをしました。効率が悪いためポンプで出来なかったと試験してみましたが、やはり馬力が違うようであきらめました。

引き続きバケツでかき出すしかなさそうです。



田んぼの生もの調査

ドジョウとモツゴ



魚の同定と説明